

令和6年度事業計画

I 事業計画の概要

令和6年度の日本経済は、総合経済対策の進捗に伴い、昨年を上回る賃上げによる所得環境の改善や企業の設備投資意欲の後押し等が相まって、民間需要主導の経済成長により緩やかな回復が続くものと見込まれている。

一方、私立大学の令和5年度入学定員充足率は、前年の100.8%から1.2ポイント下降して99.6%、未充足校は前年度に比べて37校増加して320校で、全体に占める割合は6.0ポイント上昇して53.3%と過去最多となるなど、私立大学を取り巻く経営環境は一層厳しい状況を迎える。また、昨年4月には、改正私立学校法が成立し、社会の要請に応え得る実効性のあるガバナンス改革の推進が求められている。

令和6年度は、新たな中期計画の初年度にあたるとともに、大学が開設60周年を迎える節目の年度でもある。環境の変化、厳しい社会情勢を踏まえ、社会のニーズを的確に捉えた不断の改革により、将来ビジョンに掲げる「東北地方に位置する最も魅力ある工科系私立大学」を実現していかなければならない。

大学においては、2025（令和7）年度新課程入試による志願動向への影響を注視しながら、今年度も学生の安定的確保を最優先課題として全学を挙げて取り組む。特に、工学部課程制¹⁾移行ならびに経営コミュニケーション学科名称変更について情報発信を強化する。

教学面では、AEGGポリシー²⁾を起点とする内部質保証推進のため、KPI及びIRデータに基づく自己点検・評価の実質化を図るとともに、令和7年度以降に始まる第4サイクルの認証評価基準を見据えた自己点検・評価方法のあり方を検討する。また、「AI教育プログラム（DX教育）」及び「環境・サステナビリティ教育プログラム（GX教育）」の教育内容の改善・向上や、地域連携PBLの体制構築によるキャリア教育を拡充するなど、新たな教育・人材育成に取り組む。さらに、大学院3研究科6専攻に、内閣府のAI戦略に例示されるエキスパートレベルに相当するプログラムの開設により高度情報専門人材育成を推進するなど、大学院の強化にも取り組む。

高校においては、引き続きWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業に取り組み、グローバル教育を再構築するとともに、多様な子供たちを取り残すことのない「個別最適な学び」とその多様性を生かす「協働的な学び」の具現化のための改革に着手するなど、特色ある学校づくりを目指し、志願者・入学者の増を図ることとする。また、コース統合を行い再スタートした普通科特別進学コースでは、WWL事業や海外姉妹校との交流等を通じたグローバル教育などにより、特色づくりを推進する。さらに、教育DX推進のため、新たな授業手法や教育プログラムの開発を目指すとともに、新たなシステム導入について検討を進める。

今後の教育研究環境を整備していくためには財務基盤の確立が不可欠である。今年度も主たる収入財源である学生生徒等納付金収入と補助金収入を確保するとともに、厳正な予算執行により内部留保の充実に努めることとする。また、八木山キャンパス整備基本計画に基づき、新棟2期建設へと計画を進めるため、5号館解体に着手するとともに、建設費の高騰を踏まえ新棟2期建設計画の見直しを行う。

II 事業計画の内容

1. 大学部門

(1) 教育

- ア. 学生受け入れ
- イ. 教育の質保証
- ウ. 新たな教育・人材育成
- エ. ICT を活用した授業の推進
- オ. 休退学抑制の強化
- カ. 就職支援の強化
- キ. 大学院の強化

(2) 研究

- ア. 東北 SDGs 研究実践拠点形成事業の推進
- イ. プロジェクト研究所の推進
- ウ. 外部資金獲得

(3) 地域社会貢献

- ア. 地域未来構築事業
- イ. サテライトキャンパスのあり方と移転先の検討

(4) ガバナンス

- ア. 教員業績の点検評価の推進
- イ. FD・SD 活動の推進

(5) 施設設備

- ア. 統合認証システム構築
- イ. 基盤サーバシステム更改
- ウ. 統合演習システムの更改
- エ. Web 出願システムの機能拡充

(6) 連携・交流

- ア. 高大接続の推進
- イ. 国際交流活動
- ウ. 後援会・同窓会との連携強化

2. 高校部門

(1) 教育活動の充実

- ア. 個別最適化の学びの推進
- イ. WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業
- ウ. 生徒の自主・自律性の醸成

(2) 学習支援センターの体制強化

(3) 学校運営

- ア. 特別進学コースにおける探究学習
- イ. SNS を活用した広報
- ウ. 教育 DX の推進
- エ. 東北工業大学との高大連携強化
- オ. 教職員研修の体系化

3. 法人部門

- (1) 財務基盤の強化
 - ア. 収入の確保
 - イ. 支出の抑制
- (2) 学生への経済的支援制度の継続実施
- (3) DXの推進
- (4) 施設・設備の改修
- (5) 八木山キャンパス整備基本計画の推進
- (6) 改正私立学校法への対応
- (7) ダイバーシティの推進
- (8) ブランディング活動の推進
- (9) 東北工業大学創立60周年記念事業